

別冊

部活動の在り方検討に係る アンケートの実施結果について

江別市教育委員会

部活動の在り方に係るアンケートの実施結果について

1. 調査概要

(1) 調査目的

江別市内の部活動主顧問、児童生徒(小学校5・6年生、中学校全学年)及びその保護者を対象に部活動に対する意識や実態等について調査を行い、本市の地域連携・地域移行にあたっての課題を把握し、検討材料とするため。

(2) 実施時期

令和5年9月～10月

(3) 回答者数

①教職員	中学校部活動主顧問	76名	回答率	87.4%	(対象87名)
②児童	小学5・6年生	263名	回答率	13.4%	(対象1,958名)
③生徒	中学1～3年生	269名	回答率	9.3%	(対象2,903名)
④保護者	小学生	434世帯	回答率	22.6%	(対象1,921世帯)
	中学生	612世帯	回答率	22.9%	(対象2,667世帯)

(4) その他

複数回答可としている項目については、回答率の合計は100%とはなりません。

①小学5～6年生(児童)

問1 あなたの学年について教えてください。

	回答数	割合
5年生	88	33%
6年生	175	67%

問2 中学生になったらやってみたいと思うスポーツについて

	回答数	割合
野球	34	12.9%
バスケットボール	59	22.4%
バレーボール	56	21.3%
ソフトボール	2	0.8%
卓球	45	17.1%
サッカー	54	20.5%
ソフトテニス	27	10.3%
バドミントン	87	33.1%
陸上競技	32	12.2%
水泳	56	21.3%
スキー	62	23.6%
体操	12	4.6%
柔道	8	3.0%
ハンドボール	9	3.4%
剣道	15	5.7%
相撲	1	0.4%
新体操	14	5.3%
硬式テニス	15	5.7%
フィギュアスケート	17	6.5%
スピードスケート	8	3.0%
駅伝	5	1.9%
アイスホッケー	4	1.5%
ラグビー	10	3.8%
スケートボード	13	4.9%
自転車(BMX)	24	9.1%
スポーツクライミング	13	4.9%
トランポリン	51	19.4%
空手	18	6.8%
少林寺拳法	6	2.3%
アーチェリー	22	8.4%
スノーボード	12	4.6%
カーリング	13	4.9%
その他	13	4.9%
やってみたいものがない	16	6.1%

【分析】

- ・バドミントン、水泳、スキー等の個人競技が人気上位
- ・チームスポーツでもバレーボール、バスケットボール等の少人数チームスポーツが人気であり、サッカー、野球等の団体競技は敬遠される傾向にある。

①小学5～6年生(児童)

問3 中学生になったらやってみたい文化系活動について

	回答数	割合
合唱	39	14.8%
吹奏楽	55	20.9%
ピアノ	31	11.8%
リコーダー	25	9.5%
和太鼓	26	9.9%
文芸(小説・詩歌など)	18	6.8%
書道	27	10.3%
演劇	41	15.6%
美術	64	24.3%
科学	66	25.1%
社会(地域の文化や歴史を研究する活動)	21	8.0%
囲碁	6	2.3%
将棋	26	9.9%
映画・写真(映画・写真を撮る活動)	54	20.5%
英語(英語を用いてゲームをしたり、討論を行う活動)	20	7.6%
器楽・管弦楽	24	9.1%
マーチングバンド・バトントワリング	6	2.3%
日本音楽(琴、三味線など)	12	4.6%
ダンス	48	18.3%
軽音楽(バンド演奏)	20	7.6%
パソコン(プログラミング)	61	23.2%
eスポーツ	90	34.2%
茶道	30	11.4%
華道	14	5.3%
園芸	8	3.0%
陶芸	17	6.5%
手芸	37	14.1%
調理	78	29.7%
ボランティア	24	9.1%
新聞(校内の出来事等取材して学校新聞を作成する)	13	4.9%
その他	9	3.4%
やってみたいものがない	15	5.7%

【分析】

- ・eスポーツ、パソコン等の時代に沿ったものが上位
- ・吹奏楽、美術、科学等も根強い人気がある

①小学5～6年生(児童)

問4 質問2・3を選んだ理由

	回答数	割合
小学生の時からやっていたスポーツ・文化系活動だったから	153	59%
中学生になったらやりたいスポーツ・文化系活動だったから	103	40%
アニメや本でそのスポーツ・文化系活動を知り、興味をもったから	51	20%
テレビや現地でオリンピックやプロの試合を観戦してみたいと思ったから	49	19%
きょうだいなどがやっていて、自分もやってみたいと思ったから	46	18%
その他	23	9%

【分析】

- ・小学校からの継続が6割。
- ・部活動体験の影響か、中学校でやりたい部活のイメージがある程度ついていると思われる。

問5 1週間の活動回数等について(1週間に何日ぐらい活動したいですか?)

	回答数	割合
週1日	13	5%
週2日	33	13%
週3日	77	30%
週4日	64	25%
週5日	53	20%
週6日	13	5%
週7日	8	3%

問6 活動したい曜日について

	回答数	割合
学校がある日	164	63%
学校がない日	8	3%
両方	89	34%

問7 取り組みたい競技・種目の数について
(どれくらいの種類のスポーツ・文化活動に取り組みたいか)

	回答数	割合
1つのスポーツ・文化系活動にじっくり取り組みたい	94	36%
いろいろなスポーツを経験してみたい	60	23%
いろいろな文化系活動を経験してみたい	27	10%
スポーツと文化系活動を両方経験してみたい	80	31%

①小学5～6年生(児童)

問8 大会やコンクールへの参加について

	回答数	割合
大会やコンクールに出場して、勝利や優勝を目指して頑張りたい	112	43%
大会やコンクールに出場するが、勝ち負けにはこだわらずに、試合や発表を楽しみたい	64	24%
大会やコンクールに出場しなくてもいいので、仲間と活動を楽しみたい	81	31%
その他	5	2%

②小学5～6年生(保護者)

問1 お子さんの学年について教えてください。

	回答数	割合
5年生	203	47%
6年生	231	53%

問2 お子さんのスポーツ・文化芸術活動の取組状況について

	回答数	割合
取り組んでいる	304	70%
取り組んでいない	130	30%

問3 お子さんのクラブ・教室等の所属状況について

	回答数	割合
バレーボール	14	4.6%
バスケットボール	28	9.2%
サッカー	45	14.9%
ハンドボール	0	0.0%
ソフトテニス	6	2.0%
硬式テニス	6	2.0%
バドミントン	14	4.6%
卓球	1	0.3%
軟式野球	25	8.3%
硬式野球	0	0.0%
ソフトボール	0	0.0%
陸上競技	1	0.3%
体操競技	17	5.6%
柔道	1	0.3%
剣道	0	0.0%
水泳	46	15.2%
水球	1	0.3%
ラグビー	8	2.6%
空手道	15	5.0%
少林寺拳法	2	0.7%
弓道	0	0.0%
相撲	0	0.0%
トランポリン	0	0.0%
ダンス	22	7.3%
バレエ	5	1.7%
ピアノ	61	20.1%
吹奏楽	3	1.0%
美術	6	2.0%
合唱	4	1.3%
演劇	1	0.3%
写真	0	0.0%
パソコン	5	1.7%
書道	32	10.6%
科学	4	1.3%
その他	51	16.8%

②小学5～6年生(保護者)

問4 1週間あたりの平均活動日数について(現在)

	回答数	割合
週1日	110	36%
週2日	42	14%
週3日	46	15%
週4日	39	13%
週5日	48	16%
週6日	18	6%
週7日	1	0%

問5 毎月の月謝について

	回答数	割合
1,000円未満	10	3%
1,000円以上 3,000円未満	60	20%
3,000円以上 5,000円未満	52	17%
5,000円以上 7,000円未満	41	13%
7,000円以上 10,000円未満	63	21%
10,000円以上 20,000円未満	61	20%
20,000円以上	17	6%

【分析】

・5,000円未満が4割、5,000～10,000円が3割、10,000円以上が3割であり、部活動に比べると複数種目をやっている割合が高く、比例して月謝も高い傾向にある。

問6 部活動の地域移行について知っていましたか？

	回答数	割合
知っていた	92	21%
なんとなく知っていた	192	44%
知らなかった	150	35%

【分析】

・聞いたことのある人が7割弱だが、内容を理解している人は少数

問7 部活動指導員が指導する部活動への参加について

	回答数	割合
ぜひ参加してほしい	134	31%
参加してほしい	131	30%
どちらでもよい	149	34%
参加してほしくない	7	2%
全く参加してほしくない	1	0%
その他	12	3%

【参加してほしくない理由】

・学校の先生がよいから
 ・何か問題が起きている時に指導員の方が対処できるのかという不安
 ・部活に必要性を感じない。親の負担があるから嫌だ
 ・送迎が必要な場合参加出来なくなる可能性がある為

【分析】

・肯定的な意見が6割、残りの3割以上も子供次第ということで、9割以上は参加に前向き

②小学5～6年生(保護者)

問8 拠点校方式の部活動への参加について

	回答数	割合
ぜひ参加してほしい	73	17%
参加してほしい	114	26%
どちらでもよい	182	42%
参加してほしくない	41	9%
全く参加してほしくない	3	1%
その他	21	5%

【参加してほしくない理由】

- ・学校が違うので、知ってる人がいない。何か問題があった時に、困りそうだから。
- ・自分の学校で活動してほしいから
- ・他校の生徒と関わるのはあまりしてほしくない
- ・移動・送迎の問題

【分析】

- ・部活動指導員と同様に9割弱は参加に前向き
(「どちらでもよい」は基本的に子どもの意思次第)

問9 部活動の地域移行後の参加について
(休日の学校部活動が地域のスポーツ・芸術文化団体に移った場合に参加してほしい)

	回答数	割合
ぜひ参加してほしい	65	15%
参加してほしい	106	24%
どちらでもよい	230	53%
参加してほしくない	28	6%
全く参加してほしくない	5	1%

【参加してほしくない理由】

- ・送迎等の家族の負担増
- ・休日まで部活をする必要はない
- ・月謝等による家計への影響

【分析】

- ・部活動指導員、拠点校方式と同様に9割以上は参加に前向き
(「どちらでもよい」は基本的に子どもの意思次第)

問10 どのような活動に参加してほしいですか？

	回答数	割合
平日活動しているスポーツ・文化芸術活動と同じ種目	121	59%
スポーツの基本となる身体の使い方を学ぶ活動(運動神経のトレーニングなど)	83	41%
いろいろな種目を体験できる活動(サッカーと陸上競技、バドミントンと美術など)	70	34%
大会やコンクールで勝つことや上位入賞を目指す活動	59	29%
楽しむことを目的とした活動(勝つことや大会での上位入賞を目指さない、レクリエーション的な活動(いわゆる「ゆる部活」など)	55	27%
学校の部活動にはない種目を体験できる活動	42	21%
その他	15	7%

【分析】

- ・基本は所属している部活動と同じ種目を希望するが、部活とは違う競技にも参加してほしいも3割程度で、部活動(平日)と別競技(土日)の2競技への参加に期待する保護者も一定数いる。

②小学5～6年生(保護者)

問11 休日の活動時間帯について

	回答数	割合
午前	88	43%
午後	13	6%
午前・午後どちらでも	103	50%

問12 休日の活動時間について(1日あたり)

	回答数	割合
1時間程度	21	10%
2時間程度	113	55%
3時間程度	70	34%

問13 参加費の負担について

	回答数	割合
1,000円未満	34	17%
1,000円～3,000円	60	29%
3,000円～5,000円	82	40%
5,000円～7,000円	18	9%
7,000円～10,000円	4	2%
10,000円～20,000円	6	3%

【分析】

- ・5,000円以下が8割以上
- ・現在の月謝は5,000円以上が6割に対して、地域移行後は5,000円以下が8割と、乖離が大きい
- ・クラブ活動費>部活動費、というイメージは根強い。
(小学校は複数競技・中学校は1競技という流れが多く、費用も安価に?)

問14-1 活動範囲について

	回答数	割合
通学している学校の近辺(お子さんが公共交通機関を使用せず一人で行動可能な範囲)	144	71%
お子さんが公共交通機関を使用して行動可能な範囲	34	17%
保護者の方が自家用車等で送迎可能な範囲	23	11%
その他	3	1%

【分析】

- ・9割程度は子供のみでの移動を希望しており、部活動と変わらない環境を望む意見が多い。(地域クラブ等への参加には肯定的だが、活動範囲は子どものみで移動できる範囲が大半)
- ・送迎は厳しく、地域移行した際の会場への移動手段がネック。

②小学5～6年生(保護者)

問14-2 公共交通機関を使用した行動可能な範囲について(子ども1人で)
(質問14-1で公共交通で行動可能な範囲と回答した人)

	回答数	割合
自宅からバス等で片道15分程度	12	36%
自宅からバス等で片道30分程度	15	45%
江別市内であればどこでも可	6	18%

問14-3 自家用車等で送迎可能な範囲について

	回答数	割合
自宅から車で片道15分程度	12	46%
自宅から車で片道30分程度	5	19%
江別市内であればどこでも可	7	27%
その他	2	8%

③ 中学1年～3年生

問1 学年について

	回答数	割合
1年生	126	47%
2年生	91	34%
3年生	52	19%

問2 現在、部活動に所属していますか？

	回答数	割合
運動系の部活動に所属している	129	48%
文化系の部活動に所属している	80	30%
所属していない	60	22%

問3 所属している部活について

	回答数	割合
野球	10	4.8%
サッカー	6	2.9%
バスケットボール	38	18.2%
バレーボール	10	4.8%
テニス	7	3.3%
卓球	14	6.7%
バドミントン	34	16.3%
陸上競技	4	1.9%
水泳	0	0.0%
スキー	0	0.0%
体操・新体操	0	0.0%
柔道	0	0.0%
剣道	6	2.9%
アイスホッケー	0	0.0%
その他	0	0.0%
吹奏楽	18	8.6%
美術	33	15.8%
合唱	1	0.5%
パソコン	15	7.2%
マンドリン	13	6.2%
科学	0	0.0%
その他	0	0.0%

問4 1週間あたりの平均活動日数について(現在)

	回答数	割合
週1日	0	0%
週2日	15	7%
週3日	55	26%
週4日	139	67%
平日の活動なし	0	0%

③ 中学1年～3年生

問5 平日の平均活動時間(1日あたり)について

	回答数	割合
1時間	33	16%
2時間	133	64%
3時間	43	21%

問6 休日の平均活動日数について

	回答数	割合
毎週(月4回)	144	69%
2週間に1回(月2回)	26	12%
1か月に1回	2	1%
休日の活動なし	37	18%

問7 休日の平均活動時間について

	回答数	割合
1時間	0	0%
2時間	27	16%
3時間	143	84%

問8 部活動を行う日を選べるとしたらいつ活動したいか

	回答数	割合
学校がある日のみ	98	47%
学校がない日のみ	5	2%
学校がある日もない日も	106	51%

問8-1 学校がある日の部活動の日数について

	回答数	割合
週1日	4	4%
週2日	12	12%
週3日	45	46%
週4日	35	36%
週5日	2	2%

問8-2 学校がない日の部活動の日数について

	回答数	割合
毎週(月4回)	4	80%
2週間に1回(月2回)	0	0%
1か月に1回	1	20%

③ 中学1年～3年生

問9 現在の部活動の活動場所について

	回答数	割合
自分の学校のグラウンド・教室等	183	88%
近隣の施設	3	1%
その他	23	11%

【その他の内訳】

・大半は体育館との記載であり、ほぼ100%が自校内で活動している。

問10 現在の部活動を選んだ理由

	回答数	割合
小学生の時からやっていた競技・種目だったから	49	23%
中学生になったらやりたい競技・種目だったから	90	43%
アニメや本でその競技・種目を知り、興味をもったから	26	12%
テレビや現地でオリンピックやプロの試合を観戦してみ てやってみたいと思ったから	23	11%
きょうだいなどがやっていて、自分もやってみたいと思っ たから	33	16%
友達が入る部活動だったから	60	29%
部活紹介や体験入部が魅力的だったから	76	36%
やりたい競技・種目が部活動になかったので仕方なく	11	5%
その他	30	14%

【分析】

・小学生と同様の傾向で、小学校からの継続や、元からやりたかった部活動が上位だが、入学後の部活動紹介で入部した生徒も3割以上で、入学後に気持ちが変わる場合も多い。

問11 大会・コンクールへの参加について

	回答数	割合
大会やコンクールに出場して、勝利や優勝を目指して頑 張りたい。	111	53%
大会やコンクールに出場するが、勝ち負けにはこだわら ずに、試合や発表を楽しみたい。	49	23%
大会やコンクールに出場しなくてもいいので、仲間と活 動を楽しみたい。	39	19%
その他	10	5%

【分析】

・部活に対するモチベーションは、競技志向が高い生徒と活動を楽しみたい生徒で五分五分であり、同じ部活内でも温度差があると推察される。

③中学1年～3年生

問12 今の部活動に望むことについて

	回答数	割合
専門の指導者から教えてもらいたい	64	31%
オンラインで専門家から指導を受けたり、好きな時に動画等を見て自分で練習ができるようにしてほしい	25	12%
初めての人でも気軽に参加できるような、楽しむことを中心とした活動をしたい	70	33%
プロを目指すような、競技力や技術の向上を中心とした活動をしたい	43	21%
色々な種目に挑戦してみたい(複数の部活動に参加する等)	22	11%
練習の日数や時間を減らしてほしい	24	11%
練習の日数や時間を増やしてほしい	52	25%
試合(練習試合)やコンクール(合同練習会)等の回数を減らしてほしい	9	4%
試合(練習試合)やコンクール(合同練習会)等の回数を増やしてほしい	56	27%
朝練を減らしてほしい(したくない)	8	4%
朝練を増やしてほしい(したい)	44	21%
もっと大勢の人数で活動したい	50	24%
もっと少人数で活動したい	14	7%
その他	16	8%

【分析】

・現状以上の環境(活動日数、指導者)が上位の大半を占めている一方、「ゆる部」と言われる楽しむことを中心とする回答が最多であった。

問13 部活動に所属していない理由

	回答数	割合
学校以外のスポーツ・文化芸術活動をやっているから(クラブチーム、ピアノ教室等)	24	40%
入りたい部活動がなかったから	13	22%
入りたい部活動はあったが、活動方針等が合わなかったから	3	5%
過去に所属していたが辞めたから	7	12%
勉強に集中したいから	15	25%
怪我をしたくないから	1	2%
スポーツ・文化芸術軽道に興味がないから	0	0%
なんとなく・特に理由はない	8	13%
その他	13	22%

【分析】

・部活動に所属しない理由の半数程度は学校外活動(クラブ等)を行っている。
 ・2割程度は自校にやりたい部活がないため、地域移行により機会が得られる可能性がある。

③ 中学1年～3年生

問14 学校の部活動以外のクラブ・教室等に所属しているか

	回答数	割合
所属している	74	28%
所属していない	195	72%

問15 所属しているクラブ・教室等の種類について

	回答数	割合
水泳	2	3%
ピアノ教室	11	15%
音楽教室(ピアノ以外)	1	1%
英語・英会話教室	7	10%
体操教室	1	1%
習字・書道	11	15%
そろばん	0	0%
野球	6	8%
サッカー・フットサル	5	7%
バレエ	3	4%
ダンス(バレエ以外)	8	11%
武道(剣道・空手・少林寺拳法など)	9	12%
バスケットボール	9	12%
プログラミングスクール・パソコン教室	3	4%
その他	13	18%

問16 1週間あたりの平均活動日数について(部活以外の活動)

	回答数	割合
週1日	30	41%
週2日	17	23%
週3日	12	16%
週4日	9	12%
週5日	5	7%
週6日	0	0%
週7日	1	1%

問17 クラブ・教室等に所属する理由について

	回答数	割合
部活動よりも専門的な指導を受けたい	20	27%
中学校にやりたい種目の部活動がない	11	15%
部活動に入ってみたが、自分には合わないと感じた	3	4%
小学校から今のクラブ・教室等で活動しているから	40	54%
その他	22	30%

【その他の意見】

・特定の部活がなかったとの意見と、部活以上の活動をしたいとの意見が多数

③中学1年～3年生

問18 部活動指導員が指導する部活動について参加してみたいか

	回答数	割合
ぜひ参加してみたい	55	20%
参加してみたい	74	28%
どちらでもない	82	30%
参加したくない	34	13%
まったく参加したくない	20	7%
その他	4	1%

【分析】

- ・どちらでもないの大半は、今の先生による指導に満足しており、必要性を感じていない。
- ・参加したい生徒は、専門的な指導による技術の向上に期待している。

問19 他の学校に希望する部活動があった場合、あなたは参加してみたいですか

	回答数	割合
ぜひ参加したい	42	16%
参加したい	51	19%
どちらでもない	82	30%
参加したくない	63	23%
まったく参加したくない	30	11%
その他	1	0%

【分析】

- ・どちらでもないの大半は、今の先生による指導に満足しており、必要性を感じていない。または、希望する部活はしたいが、他校の生徒との関係づくりを不安視する意見が多い。

問20 休日における学校での部活動が、学校以外のスポーツ・文化芸術団体が行う「地域クラブ活動」となった場合、あなたは参加してみたいですか。

	回答数	割合
ぜひ参加したい	34	13%
参加したい	57	21%
どちらでもない	85	32%
参加したくない	59	22%
まったく参加したくない	34	13%
その他	0	0%

【分析】

- ・どちらでもないの大半は、「地域クラブ活動」のイメージがついていない意見が多い。または、部活+αまで活動したいとは思わないとの意見が多い。

④ 中学1年～3年生（保護者）

問1 お子さんの学年について

	回答数	割合
1年生	228	37%
2年生	207	34%
3年生	177	29%

問2 現在、部活動に所属していますか？

	回答数	割合
運動系の部活動に所属している	333	54%
文化系の部活動に所属している	134	22%
所属していない	145	24%

問3 部活動に期待する役割について

	回答数	割合
専門的な指導による技術の向上	170	36%
大会・コンクールでの勝利や優勝	131	28%
お子さんの体力向上・健康増進	290	62%
お子さんの自主性の育成	325	70%
お子さんの達成感の獲得	363	78%
お子さんの自己肯定感を高める	274	59%
お子さんの学習意欲の向上	63	13%
お子さんの責任感・連帯感の涵養	330	71%
お子さんの学校への愛校心、一体感の涵養	71	15%
お子さん同士の間関係の構築	369	79%
お子さんと先生の間関係の構築	180	39%
期待する役割はない	5	1%
その他	5	1%

【分析】

・子供の内面の成長に期待する意見が大半で、技術や成績への期待は比較的少ない。

問4 心配や負担に思うことについて

	回答数	割合
朝、家を出るのが早くなる	18	4%
夜、帰宅が遅くなる	137	29%
休日、家にいる時間が少なくなる	61	13%
家族の時間がなくなる	48	10%
勉強の時間がなくなる	125	27%
活動場所への送迎	136	29%
休日の大会等への保護者の付添い	92	20%
金銭的負担	68	15%
生徒同士の間関係	70	15%
保護者同士の間関係	26	6%
顧問や学校との関係	40	9%
怪我など心身の健康面	64	14%
心配や負担に思うことはない	124	27%
その他	19	4%

【分析】

・勉強時間の確保を不安視する声や、保護者の送迎等を負担に思う声が多い

④ 中学1年～3年生（保護者）

問5 部活動にかかる費用について

	回答数	割合
1,000円未満	163	35%
1,000円以上3,000円未満	143	31%
3,000円以上5,000円未満	87	19%
5,000円以上7,000円未満	26	6%
7,000円以上10,000円未満	13	3%
10,000円以上20,000円未満	3	1%
20,000円以上	5	1%

【分析】

・月5,000円未満が9割程度。（基本的にクラブ活動より安いというイメージ）

問6 学校外の活動状況について

	回答数	割合
所属している	162	26%
所属していない	450	74%

問7 クラブ・教室等に所属している理由について

	回答数	割合
部活動にはない競技や文化活動だから	67	41%
部活動より専門的な指導が受けられるから	44	27%
部活動との両立（技術の向上等）のため	19	12%
活動時間が学校の部活動より短いから	2	1%
他の学校の生徒との交流のため	7	4%
中学校入学前から所属していたから	97	60%
様々な体験をさせたいから	34	21%
その他	10	6%

問8 クラブ・教室等にかかる費用について

	回答数	割合
1,000円未満	11	7%
1,000円以上3,000円未満	24	15%
3,000円以上5,000円未満	25	15%
5,000円以上7,000円未満	20	12%
7,000円以上10,000円未満	26	16%
10,000円以上20,000円未満	30	19%
20,000円以上	13	8%

問9 部活動の地域移行について知っていましたか？

	回答数	割合
知っていた	210	34%
なんとなく知っていた	269	44%
知らなかった	133	22%

【分析】

・認知度は小学生の保護者と大差ない。

④ 中学1年～3年生（保護者）

問10 学校の先生ではなく外部の指導者が指導する部活の場合、お子さんに参加してほしいですか。

	回答数	割合
ぜひ参加してほしい	162	26%
参加してほしい	163	27%
どちらでもよい	257	42%
参加してほしくない	15	2%
全く参加してほしくない	2	0%
その他	13	2%

【分析】

- ・現在の顧問の指導で満足している意見が多く、指導する人が教員か外部指導員か、という部分には特段こだわりはない意見が多い。今の部活動を続けられればOK。
- ・外部の人間が入ることや、責任の所在を不安視する声もある。
- ・現在の学校内で行われるという形態の維持が望まれている。（指導者は二の次）

問11 他校に希望する部活があった場合、お子さんに参加してほしいですか。

	回答数	割合
ぜひ参加してほしい	80	13%
参加してほしい	128	21%
どちらでもよい	325	53%
参加してほしくない	52	8%
全く参加してほしくない	11	2%
その他	16	3%

【分析】

- ・「どちらでもよい」の大半は子供の自主性に任せるとの意見。
- ・肯定的、否定的問わず、通っている学校以外での活動に係る移動への不安が多い。

問12 休日の学校部活動が地域のスポーツ・芸術文化団体の活動に移った場合、お子さんに参加してほしいですか。

	回答数	割合
ぜひ参加してほしい	82	13%
参加してほしい	135	22%
どちらでもよい	353	58%
参加してほしくない	24	4%
全く参加してほしくない	6	1%
その他	12	2%

【分析】

- ・「どちらでもよい」の大半は子供の自主性に任せるとの意見。
- ・「参加してほしくない」理由は、移動への不安や他校生徒との関係性への不安が多い。

④ 中学1年～3年生(保護者)

問13 どのような活動に参加してほしいですか

	回答数	割合
平日活動しているスポーツ・文化活動と同じ種目	177	68%
スポーツの基本となる身体の使い方を学ぶ活動(運動神経のトレーニングなど)	114	44%
いろいろな種目を体験できる活動(サッカーと陸上競技、バドミントンと美術など)	65	25%
大会やコンクールで勝つことや上位入賞を目指す活動	84	32%
楽しむことを目的とした活動(勝つことや大会での上位入賞を目指さない、レクリエーション的な活動(いわゆる「ゆる部活」など)	48	19%
学校の部活動にはない種目を体験できる活動	39	15%
その他	14	5%

問14 地域移行した際の休日の活動時間帯について

	回答数	割合
午前	144	56%
午後	9	3%
午前・午後どちらでも	106	41%

問15 地域移行した際の休日の活動時間について

	回答数	割合
1時間程度	13	5%
2時間程度	105	41%
3時間程度	141	54%

問16 地域移行した際の参加費等の負担について

	回答数	割合
1,000円未満	54	21%
1,000円以上3,000円未満	96	37%
3,000円以上5,000円未満	62	24%
5,000円以上7,000円未満	12	5%
7,000円以上10,000円未満	5	2%
10,000円以上20,000円未満	2	1%
20,000円以上	0	0%
その他	5	2%

問17 地域移行した際の活動範囲について

	回答数	割合
通学している学校の近辺(お子さんが公共交通機関を使用せず一人で行動可能な範囲)	173	67%
お子さんが公共交通機関を使用して行動可能な範囲	60	23%
保護者の方が自家用車等で送迎可能な範囲	24	9%
その他	2	1%

④ 中学1年～3年生（保護者）

問17-2 お子さんが公共交通機関を使用して行動可能な範囲

	回答数	割合
自宅からバス・地下鉄等で片道15分程度	12	5%
自宅からバス・地下鉄等で片道30分程度	33	13%
自宅からバス・地下鉄等で片道1時間程度	3	1%
江別市内であればどこでも可	6	2%
その他	8	3%

問17-3 自家用車等で送迎可能な範囲について

	回答数	割合
自宅から車で片道15分程度	5	21%
自宅から車で片道30分程度	6	25%
自宅から車で片道1時間程度	5	21%
江別市内であればどこでも可	8	33%
その他	0	0%

⑤部活動主顧問

問1 担当している種目について、過去指導を経験したことはありましたか。

	回答数	回答率
指導を経験したことがある	67	88.2%
指導したことはなかった	9	11.8%

【部活動種目毎】

	指導経験あり	指導経験なし
野球部	8	0
サッカー部	4	1
卓球部	6	1
バスケットボール部	12	0
バレーボール部	8	1
剣道部	3	0
バドミントン部	5	2
陸上部	3	0
テニス部	6	0
吹奏楽部	6	0
美術部	6	1
合唱部	0	1
パソコン部	0	1
マンドリン部	0	1

問2 担当している種目について、選手や部員として活動した経験はありますか。

	回答数	回答率
ある	54	71.1%
ない	22	28.9%

【部活動種目毎】

	活動経験あり	活動経験なし
野球部	8	0
サッカー部	4	1
卓球部	5	2
バスケットボール部	12	0
バレーボール部	4	5
剣道部	2	1
バドミントン部	3	4
陸上部	3	0
テニス部	4	2
吹奏楽部	5	1
美術部	4	3
合唱部	0	1
パソコン部	0	1
マンドリン部	0	1

【分析】

	活動経験あり	活動経験なし
指導経験がある	53	14
指導経験がない	1	8

●指導・活動経験が共にある顧問は約70%、活動経験はないが指導経験がある顧問は約18%であった。

●指導・活動経験が共にない顧問は約10%であり、指導経験がない部活を指導している顧問は一定数存在する。

●種目により活動経験はないが指導経験を積んだ顧問が一定数おり、現状の部活動指導は顧問の経験を基に支えられてきたことが推察される。

⑤部活動主顧問

問3 担当している種目は、管内に指導可能な先生は多いと思いますか。

	回答数	回答率
多くいる	38	50.0%
少ないがいる	33	43.4%
いない	0	0.0%
分からない	5	6.6%

【部活動種目毎】

	多くいる	少ないがいる	いない	分からない
野球部	8	0	0	0
サッカー部	5	0	0	0
卓球部	0	7	0	0
バスケットボール部	12	0	0	0
バレーボール部	3	6	0	0
剣道部	1	2	0	0
バドミントン部	3	3	0	1
陸上部	1	2	0	0
テニス部	0	6	0	0
吹奏楽部	2	4	0	0
美術部	2	2	0	3
合唱部	1	0	0	0
パソコン部	0	0	0	1
マンドリン部	0	1	0	0

問4 担当している種目で、市内、管内の競技関係団体と交流がありますか。

	回答数	回答率
頻繁に交流がある	27	35.5%
たまに交流がある	38	50.0%
交流はない	6	7.9%
団体はない	2	2.6%
分からない	3	3.9%

【部活動種目毎】

	頻繁に交流がある	たまに交流がある	交流はない	団体はない	分からない
野球部	3	5	0	0	0
サッカー部	2	3	0	0	0
卓球部	3	4	0	0	0
バスケットボール部	8	4	0	0	0
バレーボール部	5	3	0	0	1
剣道部	1	1	0	1	0
バドミントン部	1	4	2	0	0
陸上部	1	1	0	0	1
テニス部	1	4	1	0	0
吹奏楽部	2	4	0	0	0
美術部	0	4	1	1	1
合唱部	0	0	1	0	0
パソコン部	0	0	1	0	0
マンドリン部	0	1	0	0	0

【分析】

- 指導が可能な教員は、人事異動の一般的な範囲である石狩管内に一定数は存在するが、種目によりその傾向は異なり、設置数は一定数あるが指導者は多くない部活動種目は、指導者となり得る教員が不足していることが想定される。
(例:卓球部・バレーボール部・テニス部・吹奏楽部)
- 地域の団体等との交流は、交流がある(頻繁・たまに)と回答した数は全体の85%であり、一定程度確保されていると言えるが、一方で交流はない・団体はない・分からないという回答も存在し、その状況は学校毎に異なっている。

⑤部活動主顧問

問5 地域(学校以外)に、担当している種目の指導者はいますか。

	回答数	回答率
十分にいる	9	11.8%
少しいる	35	46.1%
いない	9	11.8%
分からない	23	30.3%

【部活動種目毎】

	十分にいる	少しいる	いない	分からない
野球部	2	1	0	5
サッカー部	1	3	1	0
卓球部	0	3	2	2
バスケットボール部	3	4	1	4
バレーボール部	1	4	2	2
剣道部	0	3	0	0
バドミントン部	1	4	0	2
陸上部	0	2	0	1
テニス部	0	5	0	1
吹奏楽部	1	4	0	1
美術部	0	0	3	4
合唱部	0	1	0	0
パソコン部	0	0	0	1
マンドリン部	0	1	0	0

問6 競技関係団体(種目の専門部会)等で、地域移行に向けた動きはありますか。

	回答数	回答率
ある	4	5.3%
検討中	3	3.9%
ない	30	39.5%
分からない	39	51.3%

【部活動種目毎】

	ある	検討中	ない	分からない
野球部	0	0	3	5
サッカー部	0	0	2	3
卓球部	0	0	2	5
バスケットボール部	1	1	3	7
バレーボール部	2	1	2	4
剣道部	1	0	2	0
バドミントン部	0	0	1	6
陸上部	0	0	1	2
テニス部	0	1	3	2
吹奏楽部	0	0	6	0
美術部	0	0	3	4
合唱部	0	0	1	0
パソコン部	0	0	0	1
マンドリン部	0	0	1	0

<自由記載>

- ・地域の大学の先生や高校の先生が中心となつての動きがあるように聞いている。(テニス部)
- ・クラブチームの設立(バレーボール部)
- ・数年前から地域スポーツ団体の参加が認められる大会が実施されており、スポンサー会議等にも団体の指導者が参加するようになってきている。(バスケットボール部)
- ・スポーツ団体所属で中体連に参加が可能になった(剣道部)

【分析】

- 地域に指導者がいない・もしくは少ない場合、地域連携・地域移行は困難である可能性が高く、慎重に取り組みを進めていく必要がある。
- 競技関係団体では地域移行に向けた動きは少ないが存在している。

⑤部活動主顧問

問7 担当している部活動において、休日(土・日・祝日)に活動はしていますか。

	回答数	回答率
毎週活動している	66	86.8%
たまに活動している	8	10.5%
平日のみ活動している	2	2.6%

【部活動種目毎】

	毎週活動	たまに活動	平日のみ
野球部	8	0	0
サッカー部	5	0	0
卓球部	7	0	0
バスケットボール部	12	0	0
バレーボール部	8	1	0
剣道部	3	0	0
バドミントン部	7	0	0
陸上部	3	0	0
テニス部	6	0	0
吹奏楽部	6	0	0
美術部	0	5	2
合唱部	0	1	0
パソコン部	1	0	0
マンドリン部	0	1	0

問8 外部指導者(ボランティア含む)の方と部活動指導をしていますか。

	回答数	回答率
指導している	11	14.5%
検討中	2	2.6%
指導していない	63	82.9%

【部活動種目毎】

	指導している	検討中	指導していない
野球部	1	0	7
サッカー部	1	0	4
卓球部	1	1	5
バスケットボール部	0	1	11
バレーボール部	1	0	8
剣道部	0	0	3
バドミントン部	2	0	5
陸上部	0	0	3
テニス部	0	0	6
吹奏楽部	4	0	2
美術部	0	0	7
合唱部	1	0	0
パソコン部	0	0	1
マンドリン部	0	0	1

【分析】

- 現在のガイドラインでは土曜日もしくは日曜日のどちらかを休みとしているが、その中でもほとんどの部活動で休日に活動を行っている。
- 外部指導者と共に部活動指導を行っているという回答は全体の約14%に留まり、地域連携、地域移行を行うためには、顧問以外の指導者が指導するための素地づくりが必要である。

⑤部活動主顧問

問9 担当している部活動について、現在課題はありますか。

	回答数	回答率
ある	48	63.2%
ない	20	26.3%
分からない	8	10.5%

<自由記載>

【部員数】

- ・所属生徒が競技可能最低人数を下回る年が続いている。
- ・部員数の減少に伴う活動の仕方
- ・部員減少のため単独チームでの運営が困難になりつつあること、それによる合同チームへの移行よりも寧ろ、地域移行チームへの移行の方が生徒にとって活動しやすい形になるのではと思う。
- ・部活動希望者の減少により、単独チームとしての活動が難しくなってきた。
- ・競技に必要な部員数がギリギリ(サッカーで11人)しかいないので、試合時にけが人や欠席者がいると少ない人数で試合に臨まなければいけない。
- ・部員数が非常に少なく、単独中学校での出場が困難となっている。
- ・合同チームの決め方(どの地域も人数が少なくなり、単独でチームを組むことが難しくなってきた)

【活動時間】

- ・練習日や練習時間が限られている中で、大会等で2日で4試合を行う体力や技術が身につけさせられていない。自分自身の指導力不足。校外での活動の際の移動手段。
- ・日曜日の大会に参加する際、土曜日に練習で確認ができないことなど。
- ・部活動時間の制限
- ・大会前の練習時間が不足していること。
- ・エビデンスに基づかない指示により、全種目の活動制限がされてしまっている。生徒の健康管理を含めて十分な休養を取ることの必要性は熟知しているが、一方で活動内容を工夫することで、頑張りたい生徒たちに頑張る力や経験を付けさせることもできるのだが、それが一律で制限され、その力を育
- ・市内の行事日程が、中体連の大事な時期に入れられ、貴重な練習時間を削られることが多々ある。
- ・選手は大会に出たいが、土日に引率できないので我慢してもらっている。
- ・平日の活動時間が長い。授業準備や学級事務作業をする時間がなくなる。
- ・保護者対応、教材研究、校務分掌の仕事をする時間に、部活動が大いに影響している。
- ・練習量が少ない

【顧問・指導者】

- ・若い指導者が少ない。
- ・専門知識のない者が担当すると、生徒への適切なアドバイスもできず、生徒の不利益になるとともに、担当者の負担にもなる。
- ・自分は専門の種目で、かつ部活動指導を望んでいる立場ですが、そうでない顧問の方にとっては大会も多く、指導も専門性が求められるため、かなり負担だと思えます。また、地域移行の話が出て数年経ちましたが、江別市内で卓球の指導に積極的に関わりたいと思っている地域の方はいないのが現状で、教員が部活を担当する現状はしばらく変わらないと感じます。
- ・合同チームで活動しているが、顧問4人の中で有資格の指導者が自分しかいない。
- 協会主催のリーグ戦には自校単独で出場しているが、審判割当の関係で、自分に突発的に何かあると協会・同会場で試合を行う他チーム(最低2戦行われるため少なくとも3チーム)に多大な迷惑がかかる。そういう状況でもう4年も活動しているにもかかわらず、人事において管理職や教育委員会で支える動きがなく、非常に不満である。一方で市内の他校では顧問が3人いて全員が有資格者という現状もあり、このような環境では続けられないと考えている。
- 部活動を学校に置き続けるのであれば、そういう顧問のミスマッチの解消に動いてほしい。
- ・専門内容なので、サブのスポンサーと曜日交代ができない。
- ・複数の指導教員による協力関係が不十分であること。分掌チーフをしながら毎日部活につき続けることが負担である。
- ・専門ではない顧問が指導する点と、普段の練習はもちろん、大会などの引率など現状としてメイン顧問がほぼすべてやっていくのは大変厳しい。
- ・特に1年目の話ではあるが、専門ではない部活動のため、大会に出るときのユニフォームについての規定や、それを見分ける方法。審判のやり方の指導や大会を運営する際の注意点など、気を付けなくてはいけないことについてのアンテナが弱い。校内に経験者先生がいるから聞けばいいといわれるかもしれないが、部活動のことをじっくりと時間をかけて考える時間がとれるかと言われると困難であるし、不足していることに気づくことが難しく、あたふたすることが多かった。今も手探り感はある。
- ・美術の専門ではないので、広く全般に知識がありません。技術の面で指導をすることがむずかしいので美術全般に知識のある人が必要と感じます。
- ・課題にあった練習メニューがわからない
- ・歴史ある部ではあるが、指導ができる人がなかなかいなく、実技的な指導が厳しい。他団体から声かけてもらい、一緒に練習をしたりすることはあるが、どこまで頼っていいものなのか、距離感が難し

⑤部活動主顧問

問9 続紙

【大会等引率】

・外部指導者がいても、試合の引率が教員でなければいけないという部分が負担になっている。
 ・何を焦点にするかで課題は変わってくるので、正直何が課題なのかわからない。部活動の地域移行を焦点とするならば、課題は山積していると思う。見通しもわからなければ、具体的な方法もない。本当にできるのか、いつ実現されるのか、明確ではないことが課題だと思う。このようなアンケートがたまにあるが、結果的にどうしたいのかわからない。
 ・大会時の送迎です。保護者の送迎が難しい家庭があります。バスでなくてもジャンボタクシー代を補助していただきたいです。特に冬季の長距離の送迎に不安を抱く母親もいます。
 ・大会数が多い。・大会に関わる稼働時間(会場設営、審判)が長い。・リーグ戦が多く、試合数が多い。
 ・個人競技のため大会が多い。年間40試合くらいあり、一部は保護者引率をお願いしている。
 選手の移動は保護者をお願いせざるを得ないが厳しい家庭もある。千歳、札幌円山公園、モエレ沼、苫小牧、砂川、美唄、滝川、新十津川、旭川、静内など。
 これらにかかる引率は中体連以外は3時間分の手当のみ。顧問の交通費は自腹。宿泊を伴う場合も自腹。年間十数万はかかっていると思う。

【その他】

・地域移行の話が動いていない。指導できる先生の負担が大きい。練習球などの価格が上がりやりにくが大変になってきている。
 ・運営活動費、大会遠征交通費の不足
 ・コート環境が良くないことや、指導者が継続的にいないこと、技術指導できる教員が少ないこと。
 ・部員(保護者も含めて)の部活動への意識格差(熱心に活動したい生徒・楽しんで活動したい生徒・そんなに熱心に活動する気がない生徒など)
 ・校外に出た活動がほぼない美術部では、地域移行の話はあまり動いていないように感じています。将来、運動部中心に地域移行した際、文化部でも専門の指導者をつけていただくことが可能なか、他の部活動との差が気になります。
 ・部活動手当が少ない
 ・休日も部活動指導のために学校に来ているため、週休二日になっていない。
 ・活動内容や個人活動の支援、大会出場に関して、ある学校での参加はあまりなかったため、部活動のあり方から見直す必要がある。
 ・生徒用端末が与えられ、新しいOS(Google)の使用法を1から学び、生徒に伝えなければならないため負担が大きい。むしろ生徒の方がよく知っているように感じる。また、技能検定などの有無や費用、受けられる会場などの情報が知りたい。
 ・外部機関との関わり 地域移行の動き

問10 国では、令和7年度までを部活動の地域連携、地域移行を進める重点期間とし、取組を進めることとしています。この取組について、早急に進める必要があると思いますか。

	回答数	回答率
ある	31	40.8%
ない	18	23.7%
分からない	27	35.5%

問11 部活動の地域連携、地域移行について、早急に進める必要があると思う理由を教えてください。

<自由記載>

【競技人口への減少対応等】

・競技人口の減少により学校単位より、地域単位での競技の裾野を広げていくべき
 ・クラブ化が増えて子どもたちもそちらへ流れ始めているから。
 また クラブと部活では練習時間に差があり不公平を感じる。
 ・部員数が少ない学校は「合同チーム」か「廃部」の選択肢しかない、
 専門の指導者(教員)がいない学校もまだまだある、など
 ・専門の知識のある人からの指導があると技術面での向上が望めるため。
 ・子どもが家族や教職員以外の大人と関わる機会になる。専門性。指導者不足と指導力の限界。
 ・学校単位ではなく、地域の活動にすることで、子どもがやりたいことを選択できる幅が広がるし、人数不足の問題も少しは解決できるかもしれない。
 ・その種目に対して専門的な指導を受けたい生徒がいるときに、その責任を全て学校に負わせるのは難しい状況になっている。部活動指導に熱意を持っている先生も、これだけ制限されるとその意欲さえ失っている。そうであれば、教職員が主体となっても地域移行を進めていき、行政が活動場所、時間、金銭面での支援をしていく形にした方が、お互いに幸せな形になると考える。バレーボールという種目に関していうと、明らかに他管内に比べて、石狩管内・江別市のスピード感は感じられない。

⑤部活動主顧問

問10 続紙

【教員の負担軽減】

- ・教員の負担が大きい、休日がない。
- ・教員の勤務時間の適正化をすすめる必要があると思うから。
- ・土日に勤務する必要は無い。
- ・移行すると言っておきながら、まだ流れすら見えてこない。
- ・超過勤務の大半をまたは固定毎日2時間以上を占めるのが部活動です。やりがいもありますし子供の顔を見るのも楽しいですが、現状で超過勤務を削減する一つだと思います。
- ・教員の勤務時間や業務負担の軽減のため。また、指導や競技経験のない部活を指導することも多くあると思うが、できるようになるには、時間も労力もかかりすぎるため。
- ・土日に休ませてほしいです。疲れているからです。
- ・負担になっているから
- ・経験したことのない競技を4月から指導するって、かなり難しいことだと思いませんか？しかも大会があれば休日返上です。これでは優秀な人間が集まるわけがない。R6年以降検討とは…。早急どころか緊急の課題だと私は思いますが。
- ・指導できる教師も少なくなってきた。また、部活動の担当に積極的になりたくないと感じている先生もいる中、今まで通りのやり方では維持できないと考えているため。
- ・部活動を受け持つ教員と、そうでない教員との業務量に差が大きく、時間外勤務の常態化が続いているように感じます。
- ・部活の業務が、専門ではない人にとって精神的にもとても負担だと思うから。
- ・先述の通り、望まないで指導にあたっている教員の負担を減らすため。ただ、地域に丸投げするようなやり方では、地域の人材がいらないことから上手くいかないことが予想されます。
- ・休日だけでも、地域の活動として位置づけるだけで、教職員の負担が軽減するから。
- ・最大の理由は授業準備の時間がない。時間を生み出そうと思うと、生徒が帰った18:30からの仕事になる。部活動をやれという暗黙の圧力がある一方で、勤務時間は減らせという矛盾したはたらきかけにも腹が立つ。このアンケートが具体的な動きにつながることを期待している。
- ・部活動が教員の業務を圧迫している。早急に教員の業務から外して、本来の業務に専念したい。しかし、休日しか地域移行できないなら、業務軽減になるかは疑問。休日のためだけに地域の指導者と連絡を取り合わないといけなければ、余計な負担が増えるようにも感じる。

【その他】

- ・他の地域との差が大きくなり、大会等についても同じような条件で競技を行えていないためです。また、今後地域移行していくという話は多く聞こえるが、その後の状態がわからないため、どのような見直しをもって指導したり、保護者に説明していくべきかを悩んでいます。
- ・あまりにも慎重になって時間をかけていると、現状の課題が増えていくのみで結局中途半端に終わる気がするから。地域に移行する際には必ず歪が生じるのは当然だと思うので、ある程度制度が構築されたなら早く動き出してその都度修正したほうがいい。
- ・持続可能な取り組みとするならば、必要である。
- ・予算や人材の確保、活動場所を確保するため
- ・先程、現在抱えている課題を書いたので、重複しないように書くと、地域連携や地域移行がされるかされないかは別として、どんな形で部活動を運営していくことが望ましいか本気で考えていく必要があると思います。生徒や保護者は設置部活動や校区や人間関係等で困っていると思うし、教員も苦勞しながら顧問をしている人が多いのは確かです。
- ・競技経験のない競技の指導をするのは酷。教育実習に来る子たちに、部活動の指導に関して「やりがい」を感じさせるには、正直、無理がある。我々は教員免許で指導を行うのであり、教科指導が本来の業務である。教科指導以外のことで時間を奪われたり、保護者からクレームを受けたりと、そんな可能性のあることを若者たちに強いるのは酷というものではないだろうか。もちろん、生徒たちのやりたいことをさせてあげたいという気持ちはある。ただ、時間と体力に限界が来ていると、個人的には感じている。
- ・「早急」の意味はどのくらいのスピード感を表しているのでしょうか？準備期間を示して頂けるとわかりやすいです。私は時間はかけても良いからすぐに議論を始めるべきという意味であるに回答しました。
- ・ようやくアンケートが行われている状況で、このペースで進むと3年後も現在の部活動の形が行われ、来年度から移行などと先延ばしになりかねない。

⑤部活動主顧問

問11 部活動の地域連携、地域移行について、早急に進める必要がないと思う理由を教えてください。

<自由記載>

【指導者について】

- ・指導者がいるので、新たに外部指導者を必要ないこと、外部指導者が指導することによって、別のトラブル等が発生する可能性、大会引率は教員が行わなければいけないことなど、メリットを感じないから。
- ・指導可能な場合には、顧問で十分です。
- ・私自身も指導に関わりたいから
- ・指導できる人がいるかわからないから

【生徒指導関係】

- ・部活動の人間育成の面での効果が大きいので、早急に進めることで学校現場の混乱が予想される。また、部活動を指導したいという教職員の生きがいみたいな観点も考慮してほしい。
- ・学校の学業以外の面で生徒に関わっていくことが生徒指導上有効だと考えるから。
- ・急いでも問題が発生することもあるので、生徒や学校の実態に応じて進めるのがいい。
- ・おそらくどの部活も簡単に移行が進むとは思わない、資金面、生徒への責任所在、もたもたしているうちに活動の活気が失われ自然消滅することになると思う。
- ・部活動は教育の一環だと思っているので。
- ・生徒の成長につながる気がしないから

【その他】

- ・地域移行を進めることが子どもたちのためになるとは思えない。練習場所はどうするのか、楽器はどうするのか。働き方改革を進めるのは良いが、本当に部活動から教員を開放することがその本質なのか疑問。地域移行のために、さらに業務が増えることも十分予想される。(移行期間中の学校と地域との連絡調整や、移行に伴う生徒のケアなど)。指導経験がない、部活動をしたくない教員に強要する必要はないが、意欲や熱意をもって部活動指導に当たってくれている教員もあり、そうした教員のおかげで生徒指導の一面も担われていることをわかっていたきたい。そもそも、地域移行の具体的なイメージが見えてこないの、このような返答が的を射ているのかどうかもわからない。指導したい教員はそのまま指導できるのか？地域移行しても学校単位での活動はできるのか？今までPTAや市から補助を受けていた資金面はどうなるのか？
- ・部活動の種類や種目によって、地域移行の必要性や、課題となることは違って来るはず。色々なことをもっと吟味しながら進めていくべきだと思います。早急である必要はない。
- ・時間をかけてしっかりと準備を進めていただきたい。
- ・費用、場所の問題がある。地域と学校で連携することで、更に負担が増える可能性がある。
- ・働き方改革が重点の部活動の地域移行は、子どもの成長時間を削っていると感じている。
- ・国の方針が曖昧過ぎて、我々、専門委員が振り回されっぱなしである。
- ・働き方改革に逆行し、地域移行の関わる仕事が増え、大変な思いをしている。
- ・学校から部活動を切り離すなら受け皿があればいいが、現状ではどの部も確実にあるとは言えない。

問12 その他、部活動の地域連携、地域移行について、市教委へ伝えたいこと等ありましたら、下記に記載してください。

<自由記載>

- ・無理に進めない方がいい。生徒を第一に考えてください。
- ・指導者が指導できる体制(待遇や時間等)をつくらなければ、指導者が集まらず現実的に地域移行は難しいのではないのでしょうか。
- ・教師の中にも部活動を指導したいと思う人はいると思います。すべてを地域移行で対応するのではなく、現状に合わせて臨機応変な対応が難しいとは思いますが必要だと思います。
- ・簡単に地域移行ができるとは思いません。前段に書きましたが、様々な要素が絡み合っているのが学校内での部活動です。言葉では言い表せない難しい問題が常にあり、経験した教員でなければ、理解できないと思います。指導の技術を持っていてもバックアップする資金面での応援がなければ厳しいと思います。そして、その資金はかなり莫大です。その覚悟があるのかということにかかっています。
- ・地域移行という言葉ばかりが一人歩きしていると感じます。平日や土日にずっと教えてくれる方がたくさんいるわけがないと思います。頑張ろうとする子供達がかわいそうに感じます。教職員の働き方改革を考えるなら、教職員の数を増やすのが先だと思います。
- ・待遇面等、整備した上で、教員が部活動指導する可能性を探っていただきたい。
- ・できるだけ早く道筋を明らかにして欲しいです。次に入学する生徒は、中学3年生になる際に、部活動の地域連携、地域移行の影響を受けます。子どもたちのためにも、そして説明する側の教職員のためにも、お願いしたいです。
- ・地域以降チームの運営のサポート、土台作りを市として関わるべきかと考える
- ・土日の部活動で平日の勤務に支障がでています。地域移行への推進よろしく願います。
- ・スポーツ指導をしたいという外部指導者は実際にいるのですか？なんのスポーツに何人いるのかなど、具体的に教えてほしい。
- ・外部指導者は自分たちで適任を見つけるのか、それとも市教委が探してくれるのか。。

⑤部活動主顧問

問12 続紙

・前項の質問については、地域移行する必要はありますが、早急にというより、種目の実態に応じて徐々に移行していけばよいと思います。

・地域移行に向けての外部指導者の確保は、自分たちでやるのか市教委が適任を探してくれるのか。どちらなのかがよくわかりません。

・まず流れをつくってほしい

・人材が本当に確保できて、学校と連携ができるのかということが心配です。

・令和7年度まであと1年半ほどで、地域移行するという未来が見えないが、令和7年以降も部活動の在り方が現在と変わるのか否かで、指導者も生徒もモチベーションが大きく変わってくると思う。地域移行を確実に進めるのであれば、大きな流れがないと、学校単位では取り組めることは少ないと思い

・今現在どのような状況にあるのかが見えないので、中途半端な感じで、自分がどう動くべきなのか、よくわからず、困っています。

・他市町村の現状を気軽に交流し合える方法があると嬉しい。

・地域移行が無理だとしても、相応の手当をつけるなど、配慮いただけたらと思います。

・早急に対応していただきたい

・どこまで何が進んでいるのか、競技ごとに違うのか、全く現在の様子がわかりません。現在の様子を知らせていただきたいです。

・お忙しい中、ありがとうございます。拠点校方式も一つの方法かと思います。完全にクラブチーム化すると、中学校から競技を始める生徒の活躍のチャンスがなくなる可能性が高いと考えます。

・顧問の意思を尊重してください。

・「地域移行」はなかなかすぐにとはいかないと思いますが、「地域連携」という部分では、例えば、江別市内を「北」「中」「南」などの3つの地域に分けて、その中で「拠点校方式」にするなどは進めていけるのではないのでしょうか。

そうすればこれまで自分の学校に部活がなかった生徒も選択の幅が広がり、活動の場が増えることになり、指導者(教員)の負担も少しは減るのではないのでしょうか。(ただし、拠点校にしか指導者(教員)が1人しかいないとその指導者(教員)の負担が増えてしまうので、これまでどおり各校に担当者があることが前提で、そうすれば2~3人の指導者(教員)で見ることができ、練習を見る回数を分担することで負担が減ると思います。)

また、外部指導者がいる学校であれば、モデルケースとして先行して「地域移行」することも検討していただきたいです。

ちなみに、本校には外部指導者がおり、「地域移行」の場合、協力していただけるような話は以前からあります。

・当初、5年度からということで淡い期待を抱いていました。が、やっぱり無理でしたよね。かといって、市教委に丸投げというのも酷な話だというのは分かります。難しいことはよくわかりませんが、生徒、保護者、学校、地域、可能な限りWin-Winな結果になればと思っています。

・地域移行が可能かどうか教職員が分からない状況で出来ますか?と話し合うことが不安です。

・地域連携、地域以降について前向きに考えていただけたらと思います。

・地域指導者の確保(人員、謝礼等)がどれだけ進められるかにかかっていると思われる。学校単位で出場するチームと地域で選抜されたチームとの格差が生じてくる問題。部活動指導の確保。(人事で部活動での異動が配慮されなくなるのでは)

・特になし。

・「予算」「活動場所」「人員(指導者)」など総合的に推進を進めなければならない状況ですが、ぜひ、よろしく願いいたします。

・特にありません

・ありません

・特になし

・理由は直前の質問に回答したとおり。早急に進めていただきたい。

・部活生徒数の減少で、合同チームが増えてきている。学校単位のチームではなく、少年団のように地域のチームとして活動できるような形に移行していくといいと思う。

・いずれにせよ予算面での補助が必要になると思います。

・地域連携、地域移行は基本的に賛成です。専門的な知識、技術を持つ方が指導することは、生徒の利益にも繋がり、学校の負担も軽減すると思います。ただ、地域移行の場合、生徒指導面はどうなるのか、また、地域連携の場合、地域間格差がないように調整することも必要ではないかと思っています。

・現在、部活動の活動日数に制限があるはずだが、抜け駆けて守っていない学校がある。土日片方は必ず両日とも「コート解放」と称して部員を集めている。平日休みも市内にコートを予約して「自主練」と言って顧問も参加している。

クラブチームも中体連の規定に則って運営されるものと期待しているが上記のように名前だけそれらしく付けて形骸化されるのではと思っている。

・完全移行は難しいのではないかと考えています。何かあった場合の責任の所在は、と悩みが尽きません。

⑥学校調査

問1 令和6年度に部活動指導員の導入を希望しますか。(現状において)
→全8校が導入を希望した。

問2 部活動指導員の導入を希望する種目は何ですか？
(複数回答)

	回答数
バドミントン	2
バスケットボール	1
マンドリン	1
サッカー	1
合唱	1
吹奏楽	1
バレーボール	1
テニス	1
未定	3

問3 導入を希望する理由を教えてください。

	回答数
指導できる人材がない	2
指導できる人材はいるが不足	5
更に専門的な指導を求める	1

問4 部活動指導員の導入に関して懸念となる事項はありますか(自由記載)

<p>【人材確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材がない(同様の回答計3校) <p>【教職員との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員との調整や指導の一貫性、土日は教職員は携わることは可能か ・生徒と部活動指導員、部活動指導員と教師の連携 ・学校との連携体制 ・指導員と教員、生徒、保護者等、指導方法に対する温度差やトラブル等があった際の対処 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、専門的な指導ができる人材がないため希望するが、人事異動の結果によっては他の部活動になるかもしれない。

問5 部活動指導員を導入する場合の課題として、何が考えられますか。

	回答数
指導者の確保	8
学校との連携体制	8
指導者の研修	5
保護者の理解	4

<ul style="list-style-type: none"> ・現状では人事異動と部活動種目は密接に関連しているため、部活動指導員の導入は希望するが、人事異動の関係もあり種目は未定との回答が最多であった。 ・導入を希望する種目はバドミントンが最多だが、多くの学校で複数種目を挙げている。一方で、人事異動で指導者が不足する種目が決まるため、現状では未定との回答をした学校が最多であった。 ・導入を希望する理由としては、「指導できる人材はいるが不足している」ためが最多であり、指導者が不足する状況がうかがえる。 ・部活動指導員導入に際しての課題は、指導者の確保と学校との連携体制構築が最多である。
--

⑥学校調査

問6 令和6年度に拠点校方式として、他校の生徒の受入れが可能な部活動はありますか。

	回答数
ある	3
分からない	5

問7 その部活動の種目について入力してください。

【自由記載】

- ・現時点では未定(人事異動による)
- ・野球
- ・どの部活動でも可能(要相談)

問8 拠点校として受入れが可能と判断した理由を教えてください。

【自由記載】

- ・部活によっては専門的な指導のできる教員がいるから
(ただし人事異動により、将来に渡り持続可能というわけではない)
- ・人数不足
- ・通常の自校の活動と大きく変化しないため

問9 「部活動の拠点校方式」を導入する場合、課題として何が考えられますか。

【自由記載】

- ・生徒の移動時の安全確保及び移動手段、拠点校になる学校において継続して専門的な指導ができる教諭が配置となるか、大会参加費の各学校から出る補助費の調整
- ・選手の扱い方。人数が多くなった場合の選手の選び方など。
- ・活動場所によるが、遠い場所なら移動の問題。
- ・移動時の安全確保、人事異動により毎年導入できるか不明
- ・生徒の移動時の安全確保・生徒の移動手段の確保(特に冬季)
- ・拠点校から離れている家庭の送迎の問題(移動方法がない・費用面など)
- ・移動と時間の確保
- ・安全確保、保護者の送迎が可能か
- ・平日の活動のための移動が困難である

- ・拠点校方式での生徒が受入れ可能であると回答したのは、江別・野幌・大麻地区それぞれ1校である。
- ・校区外から部活動のために移動することとなるため、生徒の安全確保や交通手段を課題とする学校が最多である。
- ・継続的な指導には専門的な指導者の配置が不可欠であるという意見も多くあった。
- ・また、人数が増加することによるチームの組み方や、部活動への補助費や部費の扱いを課題とする学校もあり、これらの対応を検討していく必要がある。

問10 貴校では、現在ある部活動以外の種目での文化芸術・スポーツ等の活動を希望する生徒はいると思いますか。

	回答数
いる	3
いない	0
分からない	5

⑥学校調査

問11 「いる」を選択した場合、その種目について入力してください。

【自由記載】

・バドミントン
 ・男子テニス、体操、新体操、男子バレーボール、合唱、サッカー
 ・現在部活動に参加している生徒が、クラブへの移動等も含め、いるのではないかと思うが、種目はわかりません。

問12 学校で部活動を行うことに対する教育的意義を、どう考えますか。

	回答数
生徒の自主性の育成	8
生徒の達成感の獲得	8
生徒の自己肯定感を高める	8
生徒同士の間関係の構築	8
生徒の体力向上・健康増進	7
生徒の責任感・連帯感の涵養	7
生徒と教職員の間関係の構築	7
生徒の学習意欲の向上	4
大会・コンクールでの勝利や優勝	3
生徒の学校への愛校心、一体感の涵養	3
生徒の様子を知ることができる	3
生徒が心身をリフレッシュできる	2
専門的な指導による技術の向上	2

問13 学校の外で部活動を行うことにより、どのような『メリット』がありますか。

【自由記載】

・選手数(試合ができる人数)の確保、生徒にとってはやりたい種目を選択できる
 ・色々な指導者、他校の生徒との交流により、見識が広がること
 ・人間関係の広がり
 ・教員の負担軽減、生徒のやりたい種目を選ぶことができる
 ・教職員の業務負担軽減、生徒の選択肢の増加、地域の活性化、
 ・教職員の負担軽減 子どもの多様なニーズに応えることが可能
 ・教職員の負担軽減。
 ・教員の部活動にかかる時間の短縮とそれに伴う教育の質の向上

問14 学校の外で部活動を行うことにより、どのような『デメリット』がありますか。

【自由記載】

・他校の生徒の状況がわかりづらい
 ①指導法や運営方針などがコントロールしにくくなる(例:不適切な指導の発見が遅れるなど)
 ・生徒指導の部分で何か問題が起きた場合、指導の対応等が難しくなると思われる
 ・活動中の様子や課題等が情報として入りにくい
 ・移動時の安全確保、金銭的負担、時間的負担、親の負担
 ・月謝等お金が発生する活動や、移動に保護者の協力がないと行けない場所等だと、参加できる
 ・移動
 ・教職員が指導者となった場合、校務運営上の支障(緊急の生徒指導の対応など)が出る可能性あり。